

10/5
(水)

平尾中で建設業出前授業 将来の視野が広がる学び



指導を受けながら操作する生徒

キャリア教育の一環として、将来の職業選択に役立てることを目的とした出前授業が10月5日、平尾中学校(松久保謙太郎校長・39人)で行われました。

当日は2・3年生30人が参加。県建設業協会出水支部の協力により、建設業について学びました。

生徒たちは油圧シャベルなどの重機試乗体験や測量体験などを通して、興味関心を高めていました。

3年の増田恭太君は「初めて重機を操作して難しかったけど、楽しくて充実した時間だった。この体験を通じて、将来の進路選択への視野が広がった」と話しました。

10/7
(金)

町内施設へ紙おむつを寄贈 未来の世代のために

10月7日、一般社団法人日本防災セキュリティ審議機構(東京都)から大人用紙おむつ2万枚が町へ寄贈されました。

同法人は防災と持続可能な開発目標(SDGs)を組み合わせ「誰一人取り残さない防災への取組」を目標に掲げ、未来の世代のために環境に配慮した社会貢献活動に取り組んでいます。

米世哲浩代表理事は「東日本大震災以降、住民の防災意識が高まってきている。今回の寄贈で長島町の皆さまに少しでも喜んでもらえれば」と話

町長へ紙おむつを手渡す米世代表理事(写真中央)



しました。

寄贈された紙おむつは町内の介護施設や養護老人ホームへ配布され、今後使用される予定です。

10/12
(水)

プレミアム付商品券販売 回復の兆しとなれば

10月12日、長島町商工会本所と支所で長島町プレミアム付商品券の販売が始まりました。

商品券は昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、停滞している地域経済の活性化を目的に販売され、今回で第3弾となります。

1万円で2万3千円分を購入でき、販売初日は開始前から商品券を買い求める住民が多く訪れていました。

同会の木場盛二会長は「まだまだコロナの影響は大きい。継続して行うことでコロナ前の頃への

商品券を買い求める住民



回復の兆しとなれば」と話しました。

商品券は取扱加盟店のポスターやのぼり旗がある店舗で12月31日まで利用できます。